

例会報告

第2736回例会報告議事録

日時 令和6年1月16日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：なし

ビジター：国際ロータリー第2790地区 ガバナー 鵜沢和広様

国際ロータリー第2790地区 地区幹事 原田宗広様

国際ロータリー第2790地区 第11グループ ガバナー補佐 中山浩一様

国際ロータリー第2790地区 第11グループ ガバナー補佐幹事 高田新也様

S.A.A.：村越会員

会長挨拶

倉持会長



本日は国際ロータリー第2790地区 ガバナー 鵜沢和広様、地区幹事 原田宗広様、第11グループ ガバナー補佐 中山浩一様、補佐幹事 高田新也様、お忙しい中お越しくださいませ誠にありがとうございます。1日よろしくお願いいたします。

鵜沢ガバナーの卓話の前に1点だけご報告させていただきます。

先日、地区ロータリー財団の地区補助金プロジェクト委員長よりご連絡をいただきまして、2月3日開催の補助金管理セミナーで今年度、我孫子クラブで開催しました社会奉仕事業を、補助金プロジェクト実施クラブのパネルディスカッションで紹介させていただく機会をいただきました。パネリストとして小野社会奉仕委員長に参加していただきます。よろしくお願いいたします。

例会終了後に意見交換会を行いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

出席委員会報告

山本会員代理



27名(出席免除者含む) 出席(全員で33名) 出席率81.81%

業務による欠席：梶会員、川村会員、古谷野会員、福武会員、前田会員

湯下会員

ZOOMによる出席：なし

幹事報告

関根幹事



・第11グループ合同例会およびIM(インターシティーミーティング)が2月14日(水)11時45分からクレストホテルで開催されます。ご参加の程よろしくお願いいたします。

・能登半島地震支援金のお願いです。例会中に募金箱を回させていただきますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



本年度ガバナーを務めております、千葉若潮クラブに所属しております鶴沢です。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年中に皆様のおかげで地区大会とゴルフ大会を無事に終わらせることができました。12月までに28クラブのクラブ訪問をさせていただきました。通年ですと今頃にはもうクラブ訪問を終わらせているところなのですが、私は自分の考えのもとに、普段つきあいのある中山ガバナー補佐におまかせした方がいいのではないかと考えて、私のスケジュールを考えずにまずクラブ訪問をしてくださいと中山ガバナー補佐にお願いしました。

私は地区大会に力を注がせていただき無事に終わることができて、クラブ訪問をさせていただいています。私は皆さんの活動計画書に「あーだこーだ」言う考えは全くありませんので、書いてあることをぜひ粛々と実行していただきたいと思います。万が一できないことがあれば、次年度に申し送りをしていただければと思います。

2024年の第1回目のクラブ訪問が我孫子クラブさんです。どうぞよろしくお願いいたします。

上村さんは2019-20年ガバナー補佐の同期です。今年度ガバナーに立候補したのが私で、次年度が寒郡さん、その後は時田さんで同期のガバナーが3年続きます。上村さんもまたご相談していただければと思います。

また藤本さんにはいつも地区でご活躍いただきありがとうございます。

今年度のRI会長、ゴードン・マッキナリーについて少しご紹介させていただきたいと思います。1957年生まれで、私と同年の66歳だと思います。スコットランド所属で本業は歯医者さんです。

昨年の国際協議会で彼から受け取ったメッセージは「継続」です。ロータリーはよく単年度主義と言われることがありますが、それは人事や予算などで奉仕プロジェクト等の良い事業については継続した方がいいのではないかとゴードン会長はおっしゃっています。

2016年の規定審議会でローターアクトを育てていくんだということが出され、2019年にローターアクトは我々同様RIの会員に格上げされました。今まではローターアクトは青少年プロジェクトのひとつでした。将来のロータリーのメンバーになってもらうために若い世代をどんどん育てていこうということだと思います。

「女兒のエンパワメント」はインドのシェカール・メータRI会長が出された事業です。途上国や紛争下にある国等では女性は15歳位になると結婚して家庭に入り子供を産み、自分で人生を切り開くこと、夢を描くことができない状況です。女兒に力を与えましょうというロータリーの事業です。

DEI（多様性、公平性、包摂性）の推進は昨年度小倉ガバナーの時から始まったもので、これについては後でまたお話いたします。

ポリオについては、1979年にロータリーが初めてフィリピンでポリオの生ワクチンの投与をスタートさせました。1985年にはポリオプラスというプロジェクトをロータリーが正式に始めました。当初の目標は120万ドルでした。1988年にWHOと一緒にになってポリオ撲滅に向けて世界に発信しました。2012年からは不活化ワクチンというより安全性の高いワクチンを日本では投与されています。

生ワクチンの投与をするためのお金をロータリーは一生懸命集めています。パキスタン、アフガニスタンではポリオワーカーの女性が一軒一軒回ってポリオワクチンを子供に投与していますが、治安が悪い為になかなか投与に行ききれないところもあり、またポリオを打つといういろんな問題が発生するという悪いプロパガンダがされて子どもに受けさせない親達もいるそうです。

ロータリーの行動計画の実践については、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の



中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指す」というものです。

我孫子市民13万5千人の中の33名しかロータリアンはいません。約4000人に1人です。よっぽど頑張らなくてロータリーを宣伝しないと市民には届かないということをお忘れにならないでください。世界にインパクトをもたらす存在になる必要があります。

参加者の基盤を広げるといことは多様性をもって会員を増やすということです。こちらのクラブには33名中3名が女性がいらっしゃって地区の中では多い方です。女性がおられないクラブもあります。世界の中では25~30%を目指すということやっています。若い会員の方も多くいらっしゃるので非常にバランスが取れていると思います。

参加者の積極的なかわりを促すということですから、参加率をあげていただきたいと思えます。

適応力を高めるということは、我々を取り巻く世界は非常に早いスピードで変化しており、それに対してどう対応するかということです。ロータリーも変化しています。例会は毎週ありましたが、今は2回以上となっています。日本では毎週開くのがいいとなっていますが、世界にはアフリカのように会員の距離が離れていて集まりにくい所もあります。

世界には2億5千万人の子ども達が紛争下の国々で暮らしています。学校に通えていない子ども達が2500万人います。こんな事実があります。

最近では紛争下だけではなく天候災害が増えていて家が流されて学校に通えていない、そういう子ども達も増えています。

平和がなければ希望が見出せない。平和さえあれば国は発展することができます。平和がまず一番大切だとゴードン会長は言っています。

もう一つゴードン会長は彼のイニシアティブとして、メンタルヘルスへの取り組みということで、新型コロナウイルスの流行の結果として傷ついた多くの人を助ける、と話されています。私自身、親しい人をコロナで失いました。後遺症で苦しんでいる方もたくさんいらっしゃると思います。

コロナによって学校に入学しても3年間マスクをして友達の様子がよくわからない子ども達もたくさんいます。大学に合格して東京に来て大学に行こうと思ったら授業が行われぬ。アルバイトをしようとしてもアルバイト先もない。泣く泣く地元に戻った若者もたくさんいます。そういう人達に気を配ることが大切だと思います。

20%位の人達が実は肉体と精神が一致していないという統計もあります。偏見をなくすことにもロータリアンは積極的に取り組みましょう。いいことを胸を張ってできる団体に我々は所属しています。自然にいいことができるようになると思います。

私は「エンゲージメントを育もう」ということを2023-24年の地区のスローガンとしてさせていただきます。私のエンゲージメントとは、会員やクラブとの信頼関係であり、会員やクラブに対する愛着、会員やロータリーに対する帰属意識、我孫子ロータリークラブに所属してよかったな、そんな風に思える、そんな気持ちを育てていただきたい、そしてクラブやロータリーに誇りをもっていただきたいと思えます。

私は2007-08年にクラブの幹事を務め、2010-11年にクラブの会長を務め、ガバナー補佐を経て今こうしてガバナーを務めさせていただきます。これはすべてクラブの会員のみんなが支えてくれたからです。

うちのクラブは県内では今年ようやく25周年を迎える新しいクラブで、32名と少し会員の少ないクラブです。全員が自分のやるべきことを理解して一生懸命やってくさっています。皆さんによくしてもらった、ということでクラブやロータリーに対する貢献意欲が私の中で育ちます。仲間に恩返しをしたいという気持ちが私の中で育ちました。こういう気持ちが私の中のエンゲージメントです。皆さん一人一人がそのエンゲージメントを自分の心の中で育てていただければ、我孫子ロータリークラブがもっともっと素晴らしく、活動が活発になるのではないかと思います。

ロータリーに入るきっかけ、続けられているのは何故か、それぞれのストーリーを思い起こしていただき、会員卓話でお話していただければと思います。

DEI(多様性、公平性、包摂性)とは、多様な人材を理解し、公平な取り組みにより、ひとりひとりを受け入れて活かすことです。

DEIは学問ではなく、クラブの取り組みから理解する方が早いと思います。たとえば席の決め方、いろいろと席替えをすることも必要です。また会報や週報を工夫することも大切だと思います。誰々がこんな話をした、ということを一生涯懸命まとめますが、例会に参加した方はわかっているから読みません。誰々が来たくらいは載せていただいていると思いますが、会員皆さんが順番で投稿するようなものにしてはいかがでしょうか。読まれる週報を作ることが大切だと思います。こういう取り組みこそがDEIだと思います。

ニコニコボックスなんかニコニコタイムを設けてお金を出した人は皆の前で一言しゃべるといいのではないのでしょうか。1分でも30秒でもいいです。ただ例会に来て食事をして帰るのではなく、自分は参加している、という気持ちをもってやっていただけるといいと思います。

会長幹事や役員に対して会員皆が積極的に協力するような雰囲気を作っていただきたいと思っています。

奉仕活動は全員が参加できるような内容を企画していただくといいと思います。

親睦行事に関してもできるだけ多くの方に参加していただけるように、たとえば日帰り旅行にする等、参加率を上げる工夫をするとよいと思います。

普段の例会の中でもご家族を呼ぶ例会を企画するのもよいと思います。家族の理解なくしてはロータリーはなかなか続けられません。

できましたら皆さん全員にロータリーの名刺を持っていただきたいと思っています。入会式にはバッジと名刺を渡して、いろんな人に会ったらロータリーの名刺を配り、ロータリーをアピールしていただくとよいと思います。

欠席が続く会員には必ず声がけをしてください。体調がすぐれないのであれば心配してあげてください。例会を休むと敷居が高くなります。声がけは出席委員長の仕事なのかもしれません。

こういうこと全てがDEIだと思います。誰も壁際に残さないということを合言葉にして活動して、お互いがお互いを盛り上げる、そんな雰囲気を作っていただきたいと思っています。

退会をされた方々の50%位の方が入会して3年未満で退会しています。ロータリーに向いていない人はいません。本人がなじめなかったのではなく、ひとりひとりお互いに気を配らなかったからだだと思います。

先輩方は健康に気をつけてください。先輩方は友達がいなくなって寂しくなるのでやめません。ロータリーは毎週会うので同じ経営者として友達になります。

1923-24年にRI会長を務められたガイ・ガンディカー氏の言葉を引用させていただきました。

「ロータリークラブにおいては親睦と学びの場であり、ロータリアンにおいては人間性の向上をもたらすものであり、仕事においては事業と業界の発展向上に繋げるべきものであり、世間においては世の中を良くしていく向上運動であり、究極の目的は素晴らしい真のロータリアンを育て、支援し、増やすことである」

「素晴らしい真のロータリアンとは、ロータリーで親睦と学びを通じて成長し、事業、業界、そして社会の向上に貢献する人である。親睦と学びの場である例会に必ず出席し、ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び職業観や人生観を深め、奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、事業経営、業界、社会に対する見識を広め、かつ向上発展に努め、何より寛容な心でロータリーの志を共にする者同士の仲間意識を強め合いながら、自らの使命として世の中に貢献していくのがロータリアンである」

皆さんは仲間、ロータリーの志を共にする仲間です。同じ価値観を理解する仲間、それがフェロシップです。そういう仲間をどんどん築いていただきたいと思っています。

ロータリーに入ると一生の友を築くことができます。お互いを信頼して、その中で友情を育てていただきたいと思っています。それがロータリーに入った最大の利点です。

我孫子ロータリークラブの夢をまず皆で確立してください。その夢を元に活動計画、3~5年位の戦略計画を作ってください。そして予定通りいっているか毎年検証してください。必ず皆で相談してください。皆で同じ夢を見るから達成できるのです。

皆さんの会社で経営戦略を持たない会社はないと思います。そして社員がいかに会社のために頑張ろうかと思ってもらおうか。そういうことも考えると思います。普段皆さんが会社でやっていることをロータリーでやりましょう、というのがDEIです。

1905年にロータリーができて、その6年後の1911年に初めての機関紙が発行されました。その中でポール・ハリスは「もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシアムの演壇に立ち、すべてのロータリアンの目を見ながら私が一言だけ語ることを許されるなら一瞬のためらいもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ『寛容!』と」

ロータリアンというのは経営者の集まりです。いろいろな方がいらっしゃいます。その中でもめることなく続けてこられるのはお互いに認め合う、尊重し合う寛容という気持ちがあるからだと思います。

未来のロータリーを築くために我々が礎を作っていくことを目指して行きたいと思います。「人は年を取っても考え方は変えられる」と稲盛さんはおっしゃいました。若い人に昔はこうだったんだということも大切ですが、ぜひ先輩方は自分を変えていくチャレンジもしていただきたいと思います。

最後に大切なことは失敗を恐れずに行動するという事です。

時間が長くなりましたが、ありがとうございました。

閉会の点鐘

倉持会長

本日はお忙しい中、鶴沢ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、お越しいただきまして、ありがとうございました。鶴沢ガバナーの卓話で大変勉強になりました。我孫子も60周年に向けて進化するクラブを目指したいと思います。

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

【意見交換会】



倉持会長より

今後、我孫子クラブで実施する奉仕事業の具体的な方向性を決めたいと思います。8月に今後実施したい事業をテーマに意見交換を行った際、まず方針や方向性を決められた方がよいというご意見をいただきました。

時間に限りがありますので、テーブルディスカッションで取りまとめていただきたいと思います。おひとり3つ以上のご意見をお願いいたします。

ファシリテーターの方はテーブルの皆様と確認しながら、集まった意見を、ロータリーが長年の経験から最も大きく持続可能な成果をあげられるとされている7つの分野に振り分けてください。その際、意見を否定したり、白黒をつけたりするのはお控えください。



村越ファシリテーターより

私どものテーブルは、平和の推進は2件、疾病との戦いは0件、水と衛生は0件、母子の健康が5件、教育の支援が4件、地域経済の発展が1件、環境の保全が1件です。



依田ファシリテーターより

私どものテーブルは、平和の推進は3件、疾病との戦いは0件、水と衛生は1件、母子の健康が5件、教育の支援が2件、地域経済の発展が5件、環境の保全が1件です。



小野ファシリテーターより

私どものテーブルは、平和の推進は3件、疾病との戦いは1件、水と衛生は0件、母子の健康が3件、教育の支援が4件、地域経済の発展が1件、環境の保全が2件です。



上村 (文) ファシリテーターより

私どものテーブルは、平和の推進は1件、疾病との戦いは0件、水と衛生は0件、母子の健康が3件、教育の支援が3件、地域経済の発展が3件、環境の保全が4件です。

倉持会長より

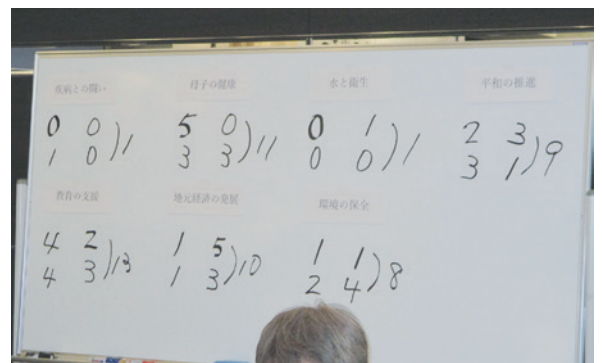
今、皆様からいただいた意見を7つに振り分けますと、教育の支援が多かったので、これから3年間は教育の支援を目的とした奉仕事業を行いたいと思います。具体的な事業内容はその年度の会長幹事と奉仕プロジェクト委員長で立案をお願いいたします。

本日出されましたご意見は取りまとめて皆さんと共有したいと思います。貴重なお時間をお借りしました。ありがとうございました。



村越会員より

上位が僅差なので3つ位に絞り込んで考えるといいのではないかと思います。



鶴沢ガバナーより講評

講評ではないのですが、ファシリテーターの方からお話があったように、教育と支援にいきなり決めるより、上位3つ位に絞って検討し、最後1つが選ばれる形がいいのかなと思います。

海外でやる事業に関しては大変な所もありますので、その辺も考えてやられるといいと思います。

教育の支援も国内でできる支援もありますが、途上国ではどんな支援ができるのかということもあると思います。

環境については、温暖化の問題も含めて世界中で大きな災害が起きていて、環境避難民が戦争の避難民とほぼ同数位いるということも実情ですから、どんな取り組みができるのかということもあると思います。

ひとりひとりがきちっとした思いで活動すればいいのかなと思います。我々だけでなく我孫子の市民の方々を巻き込みながら環境について、たとえば手賀沼の浄化等の活動ができればいいのかなと思います。

閉会の言葉

倉持会長

貴重なご意見ありがとうございます。

テーマを先に見せてしまうと意見が偏るということを想定して、皆さんから意見を伺いました。数字が近いところを見直すというのがあるのですが、それはまた別の機会にさせていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。



ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
倉持会長	本日も例会に参加いただき ありがとうございます。	1,000円
関根会員	鶴沢ガバナー ありがとうございます。	1,000円
石原会員	ロータリーの姿 大変為になるお話 ありがとうございます。	1,000円
上村(英)会員	公式訪問おつかれ様でした。	1,000円
上村(文)会員	ガバナー卓話ありがとうございます。大変参考になりました。	1,000円
木村(政)会員	ガバナーお話ありがとうございます。	1,000円
木村(隆)会員	新年 明けましておめでとうございます。 鶴沢ガバナー 卓話 有難うございました。	1,000円
小池会員	ガバナーをお迎えして。	1,000円
鈴木会員	鶴沢ガバナーお話感謝です。	2,000円
寺井会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
野田会員	鶴沢ガバナー卓話ありがとうございます。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
藤本会員	ガバナー、他ゲストの方々 本日はありがとうございます。	1,000円
村越会員	鶴沢ガバナーご来訪頂きありがとうございます。	1,000円
当日計		15,000円
今期累計		318,900円

今週の表紙「天神坂」千葉県我孫子市緑1丁目9番

かつて我孫子が北の鎌倉と言われた大正時代、白樺派の文人達は三樹荘へと続く天神坂をこよなく愛しました。白樺派の中心人物で、民芸運動提唱者の柳宗悦と声楽家の兼子夫人が住んでいた三樹荘跡は、石段を上りきった左側にあります。右側には柳の叔父である、柔道の父、嘉納治五郎の別荘跡があります。高台からは手賀沼の美しい風景が今も変わらず見下ろせます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。